

発電所対策本部運営訓練を実施しました

6月5日、原子力災害発生時における対策本部運営訓練を実施しました。

今回の訓練は、竜巻の発生による影響で外部電源が喪失し、その後、非常用の電源設備にも異常が発生したことで、原子炉を冷却する機能が失われ、原子炉内の水位が低下していくという想定のもと、事態の収束に向けた対応を行いました。

当日は、対策本部内での指揮・命令や情報共有、社内外への通報・連絡訓練などを行い、対策本部が有効かつ円滑に機能することを確認しました。

今後もさまざまな訓練を積み重ね、災害時における対応力の維持・向上に努めてまいります。



事態の収束に向け、迅速・的確な情報伝達に取り組んだ

「より、そう、ちから。感謝デー」を開催しました

6月1日、東通村砂子又ひとみの里地区において、地域への日頃の感謝を込めた「東北電力『より、そう、ちから。感謝デー』」（主催：東北電力株式会社）を開催しました。

当日は、親子連れなど約300名の方にご来場いただき、東通村やエネルギーに関するクイズ大会、アイドルグループりんご娘によるステージショーをはじめ、バルーンアートや射的などをお楽しみいただきました。

また、発電所の安全対策や各種活動を紹介するパネル展示、IHクッキングヒーターによる調理体験や高所作業車の体験コーナーも設置し、発電所員ほか運営スタッフが、ご来場いただいた地域住民の方々とふれあい、交流を深めました。



ご当地&エネルギーウルトラクイズ



おつ電力センターによる高所作業車体験



AOMORI/バルーン集団(ねじりんご)のショー

下北ジオパーク清掃活動に参加しました

5月18日、尻労土地共有会・下北ジオパーク推進協議会・東通村などの共催で行われた「ジオパーク清掃2019in尻労（猿ヶ森砂丘ジオサイト）」に、発電所から家族を含む49名、構内企業の従業員18名の計67名が参加しました。

当日は、早朝の海岸に総勢約240名が集まり、砂浜に漂着した発泡スチロールや空き缶、ペットボトルなどのゴミを分別しながら丁寧に拾い集めました。

参加者からは、「想像以上に参加者が多く、自然保護への関心が高いと感じた」「海岸がきれいになり、自身の心も洗われた感じがした」などの感想がありました。

これからもさまざまな活動を通じて、下北ジオパークを応援してまいります。



清掃ボランティア活動では過去最多となった参加者



集めたゴミをバケツリレーの要領でトラックまで運んだ

救命・応急手当講習会を開催しました

6月4日、東通消防署において、救命・応急手当講習会を開催しました。

この講習会は、応急手当の重要性を認識し、その手順を身につけることを目的に開催しているもので、発電所員18名が受講しました。

講習会では、東通消防署員の方から心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の使用方法、バックボードによる傷病者の搬送方法などについて説明を受けた後、参加者一人一人が手順を確認しながら、正しい救命処置の方法を学びました。

これからも継続して講習会を開催し、万一傷病者が発生した際に迅速かつ的確な処置がとれるよう、所員の対応力を高めてまいります。



AEDの電極パッドを正しい位置へ貼り付ける



傷病者に刺激を与えないようバックボードにのせる